

授業 科目名	【G】	情報法入門	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	情報法入門			【H】1		【H】2	
	【I】	情報法入門	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	インターネット,メディアの法規制と倫理について考える				担当者	渡邊 美樹		
授業概要	【概要】	今日、インターネットをとりまく情報環境は、従来の法的枠組みを超え変化し続けています。この授業では、インターネットの法規制、プライバシー権・肖像権と表現の自由との調整、またAIの法規制についてなど、基本的事項に解説を加えながら学びます。授業では、適宜、重要判例についても解説し、検討を加えますが、具体的事例について考えることで、問題状況の把握が容易になり、今日的課題も明確になるでしょう。						
	【到達目標】	法的視点を養うとともに、変容を続ける情報環境に対応できる力を身につけることができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関	情報法 I ～IVなど							
教科書	『情報法入門(第7版)—デジタル・ネットワークの法律—』小向太郎(2025、NTT出版)							
参考書	『新・判例ハンドブック情報法』宍戸常寿編(2018、日本評論社)							
評価方法	授業への参加態度30%、学習到達度の確認70%							
フィードバック 方法	質問については回答を、コメントシートについては、解説を行います。							
評価基準	授業内容について、よく理解している場合は、その程度に応じてSまたはAを、理解が一部不十分な場合にはBまたはCを、また、理解が不十分な場合には、その程度に応じてDまたはEと評価します。なお、最終授業への欠席など評価不能の場合にはFとなります。							

授業 科目名	【G】	情報法入門	区	分	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	情報法入門	その他参照		【H】1		【H】2
科目名	【I】	情報法入門			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクション(講義の進め方など), 情報法の今日的課題について 予習: シラバスで授業内容の確認をすること(80分程度) 復習: 資料を再読(110分程度)						
2	デジタルネットワークと法律 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
3	ネットワーク上の媒介者 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
4	海外における法整備の動向(デジタルサービス法、AI法など) 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
5	インターネット、マス・メディアの法規制と倫理 予習: 教科書の該当部分を読む(120分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
6	表現の自由とプライバシー 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
7	表現の自由と肖像権 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
8	表現の自由と名誉毀損 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
9	知的財産の保護 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
10	インターネット上の諸問題(差別的表現、フェイク動画など) 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
11	個人情報保護と情報セキュリティ 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
12	サイバー犯罪 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
13	AIと倫理、法規制 予習: 教科書の該当部分を読む(110分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
14	授業内容の確認 予習: 第1~13回の授業の確認をしておくこと(120分程度) 復習: 教科書の該当部分を再読(80分程度)						
15	学習到達度の確認および総括 予習: 第1~第14回の授業の復習(120分程度) 復習: 総括について復習のこと(70分程度)						
その他	特になし。 ※G・Hカリ: 法【選択必修修(シ)】 スホ【選択必修修(シ)】 情【選択必修(F)】						